街歩きヒストリア

かつては邸宅地であった京橋川川辺。現在は市民が憩う緑地帯です。

⑯ 京橋川の雁木群

水の都・ひろしま。市内を流れる 6 本の川沿いには、雁木と呼ばれる石組みの階段が 300 箇所以上残っています。交通が水運に頼られていた時代の名残です。

特に京橋から栄橋にかけての京橋川西岸には、主に明治から大正期頃に作られた、個人宅用の雁木が数多く点在しています。この上に建っていた家から川へ降り、洗濯や洗い物など日常生活に川を活用していたのです。

人々にとって、川は大切な暮らしの一部だったのですね。　　（文・片山典子さん）

家から雁木を下りると川が。
釣りも楽しめたそうです。

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。

HP（検索：広島市中央公民館）にバックナンバーを掲載しています。ぜひご覧ください。